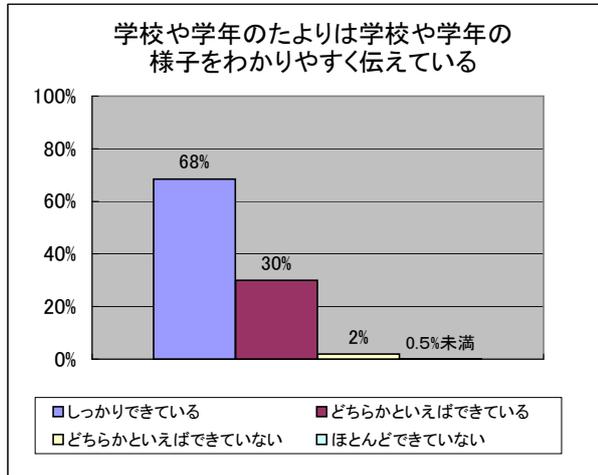


数値：小数点第1位を四捨五入して表記

補足：0.5%未満は、四捨五入すると0%の表記になってしまう。
そのため、回答者が数名いる項目は「0.5%未満」と表記する。

学校

①

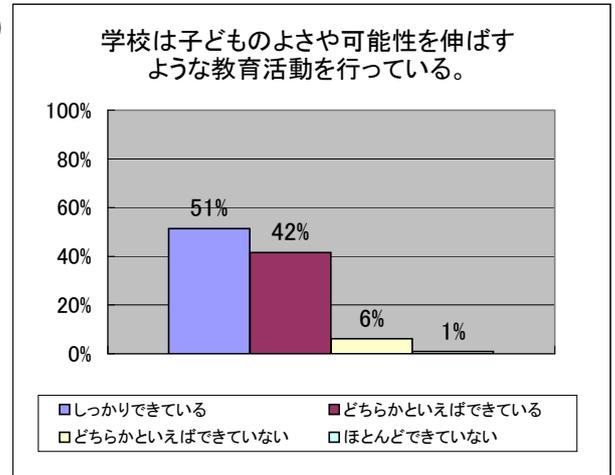


しっかりできている	どちらかといえはできている	どちらかといえはできていない	ほとんどできていない
68%	30%	2%	0.5%未満

学校や学年からのたよりは、地域性を持たない本校の保護者にとってはよりどころである。98%の保護者が「できている」と回答していることから、たよりが学校の様子を保護者にわかりやすく伝えているといえる。今後、「しっかりできている」を増やすために、より読みやすいたよりを作成する、行事などでの活動の様子をこまめに知らせるなど、更なる努力を続けていく。

学校

②

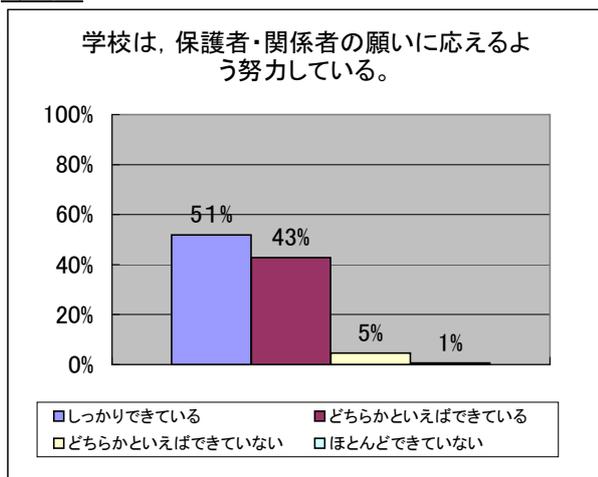


しっかりできている	どちらかといえはできている	どちらかといえはできていない	ほとんどできていない
51%	42%	6%	1%

9割以上の保護者が、子供のよさや可能性を伸ばすような教育活動を行っていると回答している。しかし、「ほとんどできていない」(1%)、「どちらかといえはできていない」(6%)であることを真摯に受け止め、一人一人の良さを伸ばすために何ができるのかを考え、子ども一人ひとりに応じたきめ細かい指導を心がけていく。

学校

③

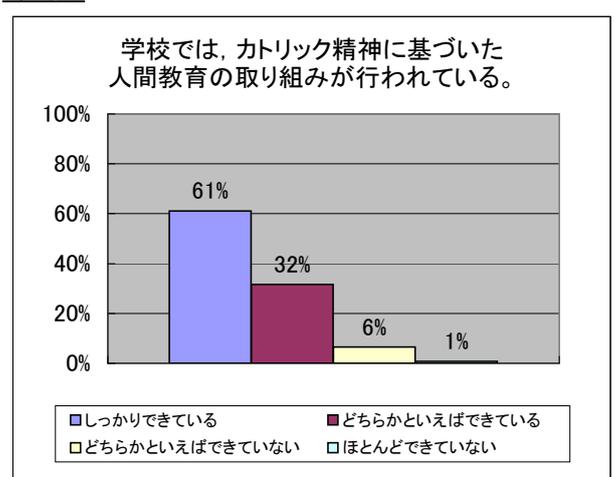


しっかりできている	どちらかといえはできている	どちらかといえはできていない	ほとんどできていない
51%	43%	5%	1%

95%の保護者が、保護者・関係者の願いに応えるよう努力していると回答している。今後も保護者らの願いに応える教育活動を継続していくために、保護者がどんな願いをもっているのか、保護者の願いと学校とのずれはないかなど、全教職員がしっかりと意識して教育活動に取り組んでいく。

学校

④



しっかりできている	どちらかといえはできている	どちらかといえはできていない	ほとんどできていない
61%	32%	6%	1%

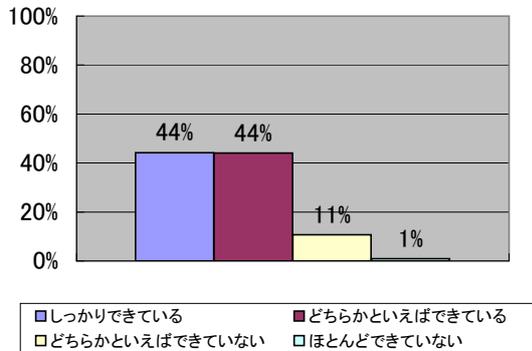
建学の精神の根幹であるカトリック精神に基づいた人間教育について、多くの保護者から理解と協力をいただいている。しかし、昨年度より「できていない」と回答した保護者が多くなっている現状がある。宗教的な行事などに加え、日々の教育活動のなかで宗教を生かした指導を行うなど、今後も指導の充実を

図りたい。

学校

⑤

学校には、子どものことで気軽に相談できる。



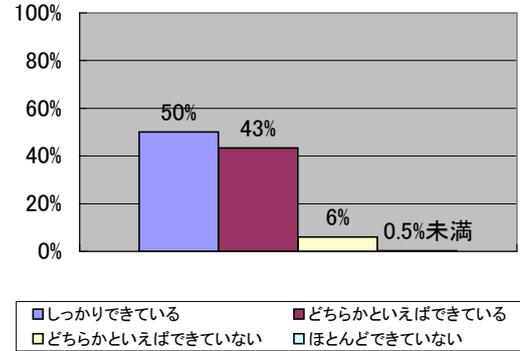
しっかりできている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	ほとんどできていない
44%	44%	11%	1%

昨年度に比べ、「しっかりできている」の割合が減っており、保護者の気持ちをしっかりと受け止められていない状況が伺われる。学校と保護者とのよりよい関係を目指し、担任だけでなく学校全体で、だれにでも気軽に相談できる雰囲気づくり、環境づくりをより一層進めていく。

学校

⑥

学校は、教育環境(清掃も含む)の整備が十分に行われている。



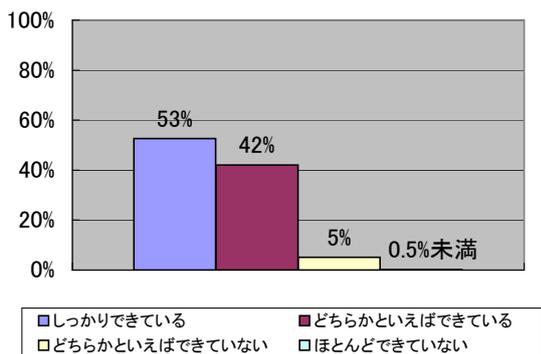
しっかりできている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	ほとんどできていない
50%	43%	6%	0.5%未満

教育環境の整備について、「しっかりできている」と回答した保護者は全体の半数である。掲示板等の設置や教員の率先した清掃活動など、環境整備に努めてきたが、教室の机や椅子など、交換が必要な物がないかどうか点検していく必要がある。子どもの活動に相応しい環境を考え、より一層環境整備に努める。

学校

⑦

教員は子どもたちにわかりやすく工夫した授業を行っている。



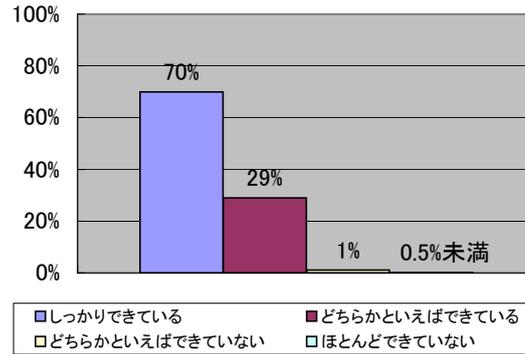
しっかりできている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	ほとんどできていない
53%	42%	5%	0.5%未満

95%の保護者がわかりやすく工夫した授業を行っていると回答している。教育活動の基盤である授業を充実したものにするために、自己評価などで得た子どもたちの生の声を授業作りに反映し、一人一人に学習の楽しさを感じさせられるようにする。そのために、全教員が研鑽を積み、お互いに高めあいがら授業力を向上させていく。

子ども

⑧

聖母学院小学校の子どもたちは、学校生活を楽しんでいる。

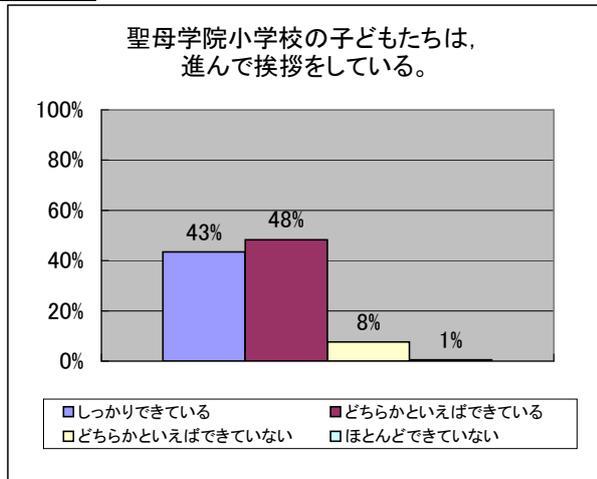


しっかりできている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	ほとんどできていない
70%	29%	1%	0.5%未満

多くの児童が学校生活を楽しんでいるが、楽しめていない児童もいることが伺える。そのことを真摯に受け止め、日々子どもの様子を観察し、トラブルを未然に防ぐように努めること、トラブルが発生した場合は、迅速・丁寧・組織的な対処をすること、学んで楽しいと思えるような授業をすることを心がけていく。

子ども

⑨

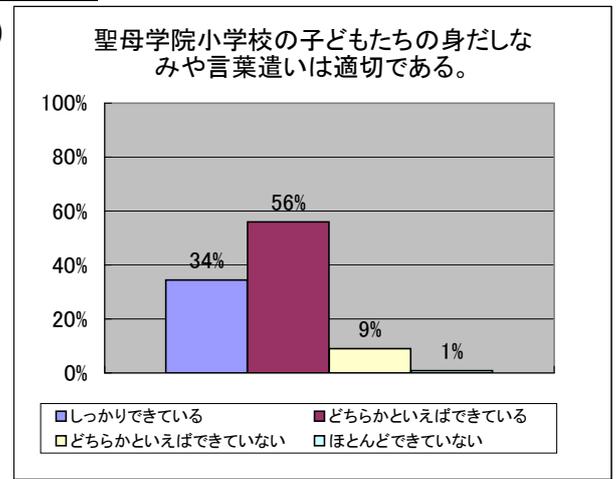


しっかりできている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	ほとんどできていない
43%	48%	8%	1%

91%の保護者が「できている」と回答しているが、「しっかりできている」が43%と低い値になっている。学校では日常的に挨拶指導をしているが、相手の目を見て、自分から進んで挨拶をすることができていない子どもたちも見受けられる。挨拶は大切なコミュニケーションの一つだということを繰り返し伝え、気持ちの良い挨拶ができるよう指導を継続していきたい。

子ども

⑩

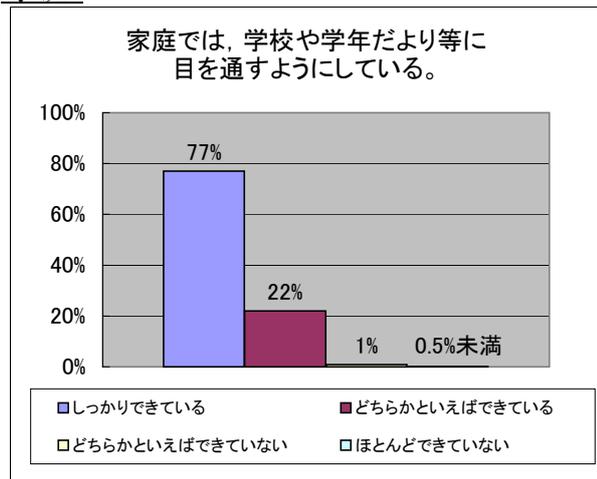


しっかりできている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	ほとんどできていない
34%	56%	9%	1%

⑨と同様に、90%の保護者が「できている」と回答しているが、「しっかりできている」が34%と低い値になっている。身だしなみや、言葉遣いについては、全教職員が統一した指導を行っていく。また、家庭との連携を密にして、粘り強い指導も行っていく。

家庭

⑪

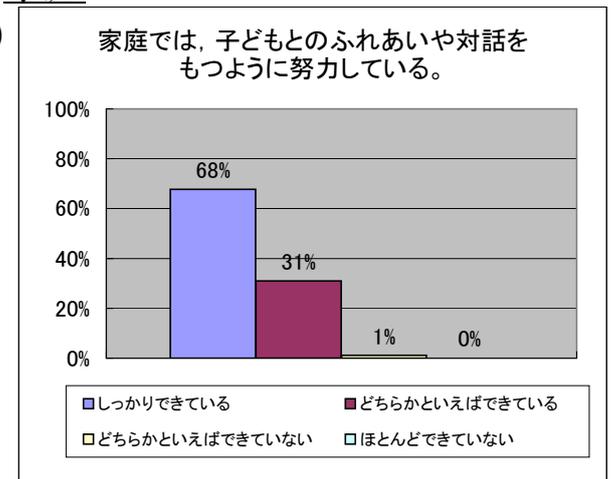


しっかりできている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	ほとんどできていない
77%	22%	1%	0.5%未満

ほとんどの保護者がたよりに目を通し、学校や学年・学級の様子把握に努め、学校の教育活動に高い関心を持っていることが伺える。今後も、学校や学年・学級の様子をよりわかりやすく伝えられるよう、紙面を工夫し、見やすくしていく。

家庭

⑫

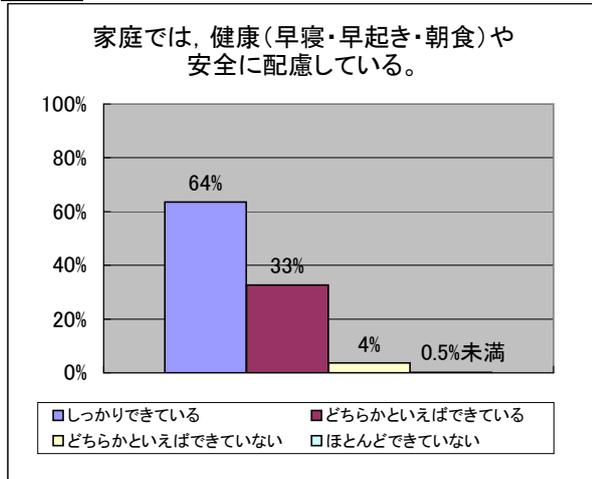


しっかりできている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	ほとんどできていない
68%	31%	1%	0%

ほとんどの保護者が温かい家庭生活を送ることができるよう、親子のふれあいや対話をもつように努力していることが伺える。保護者が児童への心のサポートをしっかり行っていることは、安定した学校生活を送るうえでも大変有効である。子どもとのふれあいを大切にし、コミュニケーションをとることを今後も続けてほしい。

家庭

⑬

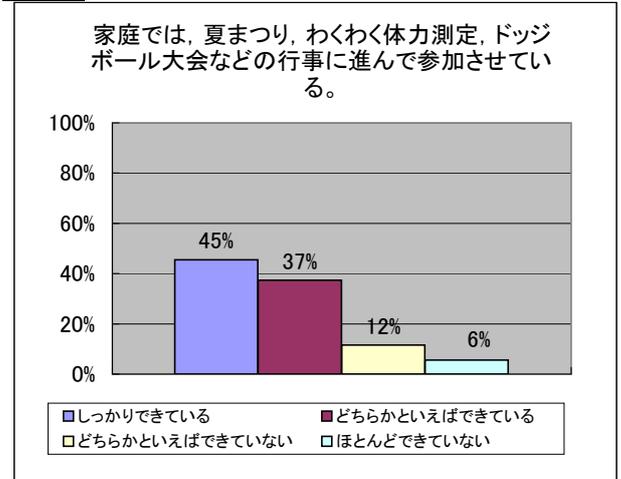


しっかりできている	どちらかといえぼできている	どちらかといえぼできていない	ほとんどできていない
64%	33%	4%	0.5%未満

子どもの健康に配慮している保護者が多い反面、生活のリズムが乱れたり、朝食をとれていなかったりする子どももしばしば見受けられる。また、昨年度と比べて「しっかりできている」と回答した割合が10%も低下している。健康・安全について配慮することがどれだけ子どもたちの成長に有効なのかをしっかりと伝えていく必要がある。

家庭

⑭

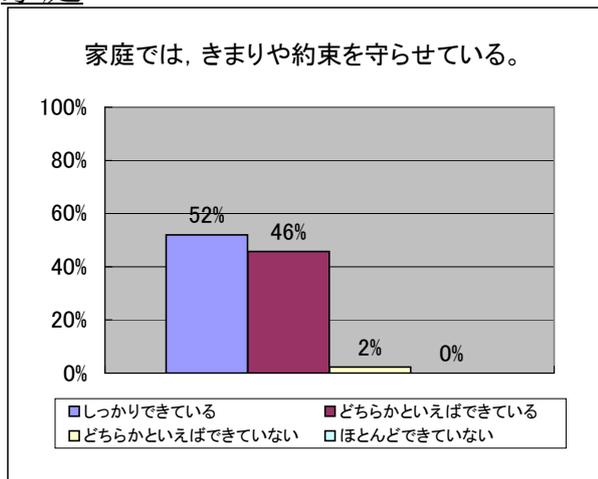


しっかりできている	どちらかといえぼできている	どちらかといえぼできていない	ほとんどできていない
45%	37%	12%	6%

多くの子どもたちがさまざまな行事に進んで参加している。しかし、通学距離や習い事等の関係で参加できない児童もおり、参加する児童は特定の児童に決まってきた傾向がある。今後、たよりなどで、行事の内容や子供たちの活動の様子を各家庭に発信し、その魅力を伝える努力をしていく。

家庭

⑮



しっかりできている	どちらかといえぼできている	どちらかといえぼできていない	ほとんどできていない
52%	46%	2%	0%

昨年度に比べ、「しっかりできている」という回答が多くなっていることから、きまりを守らせようと努力している保護者が増えていることが伺える。しっかりとした規律ある態度を身につけることは、今後、社会の一員として活躍していく子どもたちにとって必要不可欠なことである。家庭だけでなく、学校でもきまりを守らせる指導を引き続き行っていく。

《外部の学校評価委員からのコメント》

○土曜日に行く学校と保護者ボランティアによる行事に、都合で参加できない児童がいるので、参加できるような工夫が必要である。

○縦割り活動などの中にも、カトリックの精神を学ぶことが多くあるので、授業以外の中での他学年とのつながりや学びを大切にしてほしい。

○日常的な生活の中での「あいさつ」「言葉づかい」などの項目において「しっかりできている」の数値を上げていけるよう、学校と保護者の連携を深めてほしい。